

— 令和 5(2023 年) 年 4 月 —

令和 4 年(2022 年)度事業報告書及び収支決算報告書

令和 4 年 4 月 1 日から令和 5 年 3 月 31 日まで

公益財団法人日本化学研究会

令和4年(2022年)度事業報告書

公益財団法人 日本化学研究会

I. 事業の状況

① 化学研究に対する助成（定款第4条第1号） 3,600,000円

| 氏名 | 所属機関／職名 | 研究課題 | 助成金額 |
|-------|------------------|-------------------------------------|----------|
| 角館 俊行 | 八戸工業高等専門学校/助教 | 有機共蒸着膜のマルチスケール構造解析とデバイス応用 | 600,000円 |
| 尾崎 拓 | 岩手大学理工学部/准教授 | ミトコンドリア機能を制御する新規低分子化合物の創出 | 600,000円 |
| 中村 彩乃 | 秋田大学大学院理工学研究科/助教 | 気温によって近赤外光透過率を変える調光材料の開発 | 600,000円 |
| 吉田 一也 | 山形大学大学院理工学研究科/助教 | 極性分子のリン脂質二分子膜に対する侵入現象の解明 | 600,000円 |
| 西村 良夫 | 奥羽大学薬学部/准教授 | 創薬資源ライブラリーの構築を指向したジヒドロピリミジンの触媒的合成 | 600,000円 |
| 戸田 智之 | 長岡技術科学大学/助教 | 脱石油時代をリードする藻類産生オイルを原料とする新しい高分子材料の開発 | 600,000円 |

② 化学情報の流通に関する研究及び事業に対する助成（定款第4条第2号） 600,000円

| 氏名 | 所属機関／職名 | 研究課題 | 助成金額 |
|------|--------------|------------------------------------|----------|
| 渡辺 尚 | 宮城教育大学大学院/教授 | STEAM教育を指向した次世代科学教育研究会の試みとアーカイブの制作 | 600,000円 |

③ 海外渡航に対する助成（定款第4条第3号） 0円
申請なし。

④ その他の事業関係（定款第4条第4号）
本財団法人の目的を達成するための事業関係の理事間協議、各選考委員会等の開催。

II. 庶務の概要

(1) 役員に関する事項

2023年3月31日現在

| 職名 | 常勤・非常勤 | 氏名 | 就任(重任)年月日 | 担当職務 | 報酬 | 現職 | 備考 |
|------|--------|-------|-------------|-------|----|------------|----------|
| 理事長 | 非常勤 | 飛田 博実 | 令 3. 6. 13 | 業務の総括 | あり | 東北大学名誉教授 | 平成 19. 5 |
| 常務理事 | 非常勤 | 西野 徳三 | 令 3. 6. 13 | 会計 | あり | 東北大学名誉教授 | 平成 15. 5 |
| 常務理事 | 非常勤 | 根東 義則 | 令 3. 6. 13 | 庶務・事業 | あり | 東北大学教授 | 平成 25. 8 |
| 理事 | 非常勤 | 中山 亨 | 令 3. 6. 13 | | あり | 東北大学教授 | 平成 29. 6 |
| 理事 | 非常勤 | 岩本 武明 | 令 3. 6. 13 | | あり | 東北大学教授 | 平成 29. 6 |
| 監事 | 非常勤 | 寶澤 光紀 | 令 3. 6. 13 | | あり | 東北大学名誉教授 | 平成 15. 5 |
| 監事 | 非常勤 | 福島美智子 | 令 4. 11. 27 | | あり | 石巻専修大学名誉教授 | 令和 4. 11 |

◇備考の年月は最初の就任の年月。

(2) 評議員に関する事項

2023年3月31日現在

| 職名 | 常勤・非常勤 | 氏名 | 就任(重任)年月日 | 報酬 | 現職 | 備考 |
|-----|--------|--------|-------------|----|----------|----|
| 評議員 | 非常勤 | 池上 雄作 | 令和 3. 6. 13 | あり | 東北大学名誉教授 | |
| 評議員 | 非常勤 | 宮野 壯太郎 | 令和 3. 6. 13 | あり | 東北大学名誉教授 | |
| 評議員 | 非常勤 | 村松 隆 | 令和 3. 6. 13 | あり | 宮城教育大学学長 | |

(3) 職員に関する事項

2023年3月31日現在

| 職名 | 常勤・非常勤 | 氏名 | 就任年月日 | 担当事務 | 手当 | 備考 |
|------|-----------------|-------|-------------|-------|----|--------|
| 事務局長 | 非常勤 (常勤職員なし) | 飛田 博実 | 令和 3. 6. 13 | 庶務・会計 | なし | 理事長が兼務 |

(4) 会議等に関する事項

①理事会

| 開会年月日 | 議事事項 | 会議の結果 |
|-----------------------------|---|--|
| 2022年5月15日, 第201回理事会(Web会議) | 1. 令和3年度事業報告書(案)について(配布資料-2) 2. 令和3年度収支決算報告書(案)について(配布資料-2) 3. 令和4年度化学研究連絡助成事業の選考について(配布資料-4) 今年度は化学研究助成6件および情報研究助成1件が選考委員会によって選考された。海外渡航助成は応募がなかった。 | 原案どおり承認・可決した 原案どおり承認・可決した 原案どおり承認・可決した |

| | | |
|------------------------------------|---|--|
| | <p>4. 特別報酬の支給について（配布資料-5） 日本化学総覧の日本化学会化学遺産認定に向けての多大なる尽力の対価として、池上雄作評議員および西野徳三前理事長（現常務理事）に対し特別報酬を支給する件について、審議した結果、原案通り全会一致で議決承認された。</p> <p>5. 次回の第95回定時評議員会の開催について 6月12日（日曜日）14時からラボシティ仙台1階会議室Cにおいて開催することについて審議し、承認された。</p> <p>6. 理事長及び常務理事の職務執行状況について</p> | <p>原案どおり承認・可決した</p> <p>原案どおり承認・可決した</p> <p>報告事項</p> |
| <p>2022年10月23日、第202回理事会（Web会議）</p> | <p>1. 令和5年度化学研究連絡助成事業の募集について（配布資料-2） 交付申請要項の案について審議し、「2. 助成の対象となる者」の条件、すなわち「上記のいずれかの助成金を過去5年以内に受けた者はどの項目にも申請できない。」の中の「過去5年以内」という言葉で示されている期間が曖昧なので、この期間を明確化するため、「5年以内」の後に（2018～2022年度）を書き加える案が提案され、全会一致で承認された。また、交付申請要項の中の「7. 助成金を交付された者の義務」に記されている助成報告書の提出に関し、令和2年度に助成金を交付された8名のうち2名が、催促後も報告書を提出していないことが報告された。このような状況を改善するために、助成金の交付決定通知に、報告書の提出は助成金を交付された者の義務であることを改めて明記することが提案され、承認された。</p> <p>2. 臨時評議員会の開催について 伊藤翼監事の後任監事の選任に関する臨時評議員会を、11月にラボシティ仙台会議室で開催することが全会一致で承認された。</p> <p>3. その他 理事会の最後に、伊藤翼監事から退任のご挨拶があった。</p> | <p>原案どおり承認・可決した</p> <p>原案どおり承認・可決した</p> |
| <p>2023年3月5日、第203回理事会（Web会議）</p> | <p>1. 令和5年度事業計画（案）について（配布資料-2） 令和5年度事業計画について審議し、全会一致で承認された。</p> <p>2. 令和5年度収支予算（案）について（配布資料-3） 今年度の予算の執行を踏まえ、来年度予算案を作成した趣旨説明がなされ、審議した結果、原案通り全会一致で承認された。併せて、令和5年度の特定期間取り崩し額を7,000,000円とすることも審議し、全会一致で承認された。</p> <p>3. 海外渡航助成への申請がここ数年無いことへの対策について（配布資料-4-1～4-3） 交付申請要項の「2. 助成の対象となる者」の最後の「上記のいずれかの助成金を過去5年以内（〇〇～△△年度）に受けた者はどの項目にも申請できない。」という条件を緩和し、「①化</p> | <p>原案どおり承認・可決した</p> <p>原案どおり承認・可決した</p> <p>原案を一か所修正後承認・可決した 新たな提案についても審議</p> |

| | | |
|--|---|---|
| | <p>学研究助成+②情報研究助成」と「③海外渡航助成」を別枠とするように条件を変更することについて審議し、配布資料-4-1の「化学研究連絡助成規程」の改訂文の一か所を原案から修正する以外は、原案通りに変更することが全会一致で承認された。関連して、最近円安が進んでいることから、それに対応した海外渡航助成金およびその他の助成金の上限額の増額について審議がなされ、前者については増額が全会一致で承認された。後者については継続して審議することとした。</p> <p>4. その他</p> <p>令和5年度化学研究連絡助成申請一覧（配布資料-5）に基づいて、申請のあった化学研究助成に関する選考委員会の委員長に選考を依頼した。</p> | <p>し、一方は承認・可決、もう一方は継続審議となった</p> <p>全員了承した</p> |
|--|---|---|

②評議員会

| 開会年月日 | 議 事 事 項 | 会議の結果 |
|---------------------------|---|---|
| 2022年6月12日 第95回定時評議員会 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 令和3年度の事業報告(案)について（配布資料-2） 2. 令和3年度の収支決算報告(案)について（配布資料-2） 3. 令和3年度化学研究連絡助成事業の選考結果について（配布資料-3） 4. その他 <ol style="list-style-type: none"> (1) 令和4年度事業計画書及び令和3年度収支予算書について確認を行った。（配布資料-4） (2) 令和3年度の監査報告書について確認を行った。（配布資料-5） (3) 第201回理事会(5月15日)議事録等の確認を行った。（配布資料-6） (4) 特別報酬の支給について確認を行った。（配布資料-7） | <p>原案どおり承認した</p> <p>原案どおり承認した</p> <p>全員一致で承認した</p> <p>全員一致で承認した</p> |
| 2022年11月27日 第96回臨時評議員会 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 伊藤翼監事の辞任の承認と後任監事の選任について 伊藤監事の辞任はやむなしと判断し、全会一致で議決承認した。続いて定款第11条により、後任の監事の人選に入り、評議員会で候補者として推薦された福島美智子石巻専修大特命教授について履歴書等を基に選任を行い、全会一致で選任された。その就任の依頼を本人に伝えたところ就任を承諾した。 2. その他 <ol style="list-style-type: none"> (1) 2023年度化学研究連絡助成事業の募集について 第202回理事会で議決承認された「2023年度化学研究連絡助成金交付申請要項」（評議員会資料2）について確認を | <p>全員一致で承認・可決した</p> <p>全員一致で承認した</p> |

| | | |
|--|---|--|
| | 行った。 (2) 第 202 回理事会(10 月 23 日)議事録 (評議員会資料 3) について確認を行った。 | |
|--|---|--|

③選考委員会 (令和 4 年度化学研究連絡助成金交付者の選考)

| 開会年月日 | 議 事 事 項 | 会議の結果 |
|-----------------------------|--|-----------|
| [化学研究選考委員会] | | |
| 2022 年 4 月 25 日 (Web 会議) | 本助成金について、2 月末を締め切りとして募集を行い、最終的に 10 件の応募があった。それらにつき審議した結果、そのうち 6 件の採択を決め、理事会に報告することとした。 | 全員一致で承認した |
| [情報研究・事業選考委員会] | | |
| 2022 年 4 月 26 日 (書類選考にて) | 申請 1 件につき審議した結果、1 件の採択を決め、理事会に報告することとした。 | 全員一致で承認した |
| [海外渡航選考委員会] | | |
| | 応募者なし。 | |

(5) 許可, 認可, 承認, 証明等に関する事項
なし

(6) 契約に関する事項

| 契約年月日 | 相 手 方 | 契 約 の 概 要 |
|--------|-------|-----------|
| 「該当なし」 | | |

(7) 寄附金に関する事項

| 寄附の目的 | 寄附者 | 申込金額 | 受領金額 | 備 考 |
|--------|-----|------|------|-----|
| 「該当なし」 | | | | |

(8) 主務官庁指示に関する事項

| 指示年月日 | 指 示 事 項 | 履 行 状 況 |
|--------|---------|---------|
| 「該当なし」 | | |

(9) その他の重要事項 (官公庁関係事項)

- 2022 年 6 月 29 日 内閣府へ令和 3 年度の事業報告書等に係る提出書をポータルサイトから送信し、2023 年 4 月 5 日に補正依頼が来たため補正提出を行い、2023 年 4 月 14 日に完了していることを確認した。

2. 2022年12月24日 内閣府へ監事変更の届け出をポータルサイトから行い、2023年1月に完了していることを確認した。
3. 2023年3月15日 内閣府へ令和5年度の事業計画および予算書、第203回理事会議事録等をPDFファイルとしてポータルサイトから送信し、3月中に完了していることを確認した。

以上

令和4年(2022年)度収支決算報告書

収支計算書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(公財)日本化学研究会
(単位: 円)

| 科 目 | 令和4年度 予算額 | 令和5年3月末日 決算額 | 差 異 | 備 考 |
|--------------------------|--------------|-----------------|-------------|-----|
| I 収入の部 | | | | |
| 1 基本財産運用益 | | | | |
| (1) 定期預金受取利息 | | | | |
| : みずほ信託銀行仙台支店 | 2,000 | 350 | △ 1,650 | |
| 2 運用財産運用益 | | | | |
| (1) 定期預金受取利息 | | | | |
| : みずほ信託銀行仙台支店 及び七十七銀行 | 17,000 | 1,950 | △ 15,050 | |
| (2) 普通預金受取利息 | | | | |
| : みずほ信託銀行仙台支店 及び七十七銀行 | 0 | 66 | 66 | |
| (3) 株式配当金計 | 1,350,000 | 2,041,590 | 691,590 | |
| : (株)三菱ケミカルG | | 744,000 | | |
| : AGC (株) | | 1,297,590 | | |
| 3 雑収入 | 0 | 0 | | |
| (1~3 小計) | 1,369,000 | 2,043,956 | 674,956 | |
| 4 特定資産取崩収入 | | | | |
| ・化学研究連絡助成資金 積立預金取崩収入 | 8,000,000 | 7,000,000 | △ 1,000,000 | |
| 当期収入合計 (A) | 9,369,000 | 9,043,956 | △ 325,044 | |
| 前期繰越収支差額 | 4,371,153 | 4,371,153 | 0 | |
| 収入合計 (B) | 13,740,153 | 13,415,109 | △ 325,044 | |

| 科 目 | 予算額 | 決算額 | 差 異 | 備 考 |
|-------------------|-----------|-----------|-------------|-----|
| II 支出の部 | | | | |
| 1 事業費 | | | | |
| ・助成費計 | 5,000,000 | 4,200,000 | △ 800,000 | |
| ・化学研究助成費 | | 3,600,000 | | 6件 |
| ・情報研究・事業助成費 | | 600,000 | | 1件 |
| ・海外渡航助成費 | | 0 | | 0件 |
| ・事業執行経費 | 1,815,000 | 1,454,761 | △ 360,239 | |
| (事業費合計) | 6,815,000 | 5,654,761 | △ 1,160,239 | 注1 |
| 2 管理費 | | | | |
| ・役員等報酬 | 550,000 | 705,000 | 155,000 | 注2 |
| ・退職給付引当金 | 100,000 | 100,000 | 0 | |
| ・会議費 | 150,000 | 1,310 | △ 148,690 | 注3 |
| ・旅費交通費 | 200,000 | 106,880 | △ 93,120 | 注3 |
| ・通信運搬費 | 150,000 | 63,431 | △ 86,569 | |
| ・消耗品費 | 10,000 | 5,447 | △ 4,553 | |
| ・印刷製本費 | 130,000 | 121,250 | △ 8,750 | |
| ・事務室経費 | 420,000 | 415,851 | △ 4,149 | |
| ・保険料 | 0 | 0 | 0 | |
| ・諸謝金 | 10,000 | 0 | △ 10,000 | |
| ・租税公課 | 0 | 0 | 0 | |
| ・手数料 | 15,000 | 12,700 | △ 2,300 | |
| ・業務委託料 | 300,000 | 300,000 | 0 | |
| (管理費合計) | 2,035,000 | 1,831,869 | △ 203,131 | |
| 当期支出合計 (C) | 8,850,000 | 7,486,630 | △ 1,363,370 | |
| III 収支差額 | | | | |
| 当期支出差額 (A) - (C) | 519,000 | 1,557,326 | 1,038,326 | |
| 次期繰越収支差額(B) - (C) | 4,890,153 | 5,928,479 | 1,038,326 | |

注1 海外渡航助成の該当者がなかったため、およびほとんどの会議をWebで開催したことにより、会議費、交通費が予定より減少したため。

注2 特別報酬を支出したため、および評議員打合せ会、臨時評議員会を開催したため。

注3 ほとんどの会議をWeb会議として開催したことにより、会議費、交通費が予定より減少したため。

正味財産増減計算書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで (公財) 日本化学研究会

(単位: 円)

| 科目 | 公益目的事業会計 | 法人会計 | 合計 |
|--------------|-------------|-------------|-------------|
| 1 一般正味財産増減の部 | | | |
| 1. 経常増減の部 | | | |
| (1) 経常収益 | | | |
| 基本財産運用益 | 0 | 350 | 350 |
| 基本財産受取利息 | 0 | 350 | 350 |
| 特定資産運用益 | 2,043,606 | 0 | 2,043,606 |
| 特定資産受取利息 | 2,016 | 0 | 2,016 |
| 特定資産受取配当金 | 2,041,590 | 0 | 2,041,590 |
| 雑収益 | 0 | 0 | 0 |
| 経常収益計 | 2,043,606 | 350 | 2,043,956 |
| (2) 経常費用 | | | |
| 事業費 | 5,654,761 | | 5,654,761 |
| 役員報酬 | 360,000 | | 360,000 |
| 会議費・選考経費 | 50,000 | | 50,000 |
| 旅費交通費 | 102,000 | | 102,000 |
| 通信運搬費 | 88,364 | | 88,364 |
| 消耗品費 | 0 | | 0 |
| 印刷製本費 | 136,562 | | 136,562 |
| 賃貸料光熱費 | 405,845 | | 405,845 |
| 諸謝金 | 0 | | 0 |
| 支払助成金 | 4,200,000 | | 4,200,000 |
| 手数料 | 11,990 | | 11,990 |
| 業務委託費 | 300,000 | | 300,000 |
| 管理費 | | 1,831,869 | 1,831,869 |
| 役員報酬 | | 705,000 | 705,000 |
| 退職給付引当金 | | 100,000 | 100,000 |
| 会議費 | | 1,310 | 1,310 |
| 旅費交通費 | | 106,880 | 106,880 |
| 通信運搬費 | | 63,431 | 63,431 |
| 消耗品費 | | 5,447 | 5,447 |
| 印刷製本費 | | 121,250 | 121,250 |
| 賃貸料光熱費 | | 415,851 | 415,851 |
| 諸謝金 | | 0 | 0 |
| 手数料 | | 12,700 | 12,700 |
| 業務委託料 | | 300,000 | 300,000 |
| 経常費用計 | 5,654,761 | 1,831,869 | 7,486,630 |
| 当期経常増減額 | △ 3,611,155 | △ 1,831,519 | △ 5,442,674 |
| 2. 経常外増減の部 | | | |
| (1) 経常外収益 | | | |
| 有価証券当期評価損益 | △ 655,140 | 0 | △ 655,140 |
| 経常外収益計 | △ 655,140 | 0 | △ 655,140 |
| (2) 経常外費用 | | | |
| 経常外費用計 | 0 | 0 | 0 |
| 当期経常外増減額 | △ 655,140 | 0 | △ 655,140 |
| 当期一般正味財産増減額 | △ 4,266,295 | △ 1,831,519 | △ 6,097,814 |
| 一般正味財産期首残高 | 240,111,335 | 17,831,893 | 257,943,228 |
| 一般正味財産期末残高 | 235,845,040 | 16,000,374 | 251,845,414 |

貸借対照表

令和5年3月31日現在

(公財) 日本化学研究会

(単位:円)

| 科 目 | 当 年 度 | 令和4年3月31日 | 増 減 |
|--------------------|-------------|-------------|-------------|
| I 資産の部 | | | |
| 1. 流動資産 | | | |
| 現金預金 | 5,928,479 | 4,371,153 | 1,557,326 |
| 流動資産合計 | 5,928,479 | 4,371,153 | 1,557,326 |
| 2. 固定資産 | | | |
| (1) 基本財産 | | | |
| 定期預金 | 35,000,000 | 35,000,000 | 0 |
| 基本財産合計 | 35,000,000 | 35,000,000 | 0 |
| (2) 特定資産 | | | |
| 化学研究連絡助成資金 | 161,000,000 | 168,000,000 | △ 7,000,000 |
| 有価証券 | 49,916,935 | 50,572,075 | △ 655,140 |
| 退職給付引当資産 | 630,000 | 620,000 | 10,000 |
| 特定資産合計 | 211,546,935 | 219,192,075 | △ 7,645,140 |
| (3) その他の固定資産 | | | |
| その他の固定資産合計 | 0 | 0 | 0 |
| 固定資産合計 | 246,546,935 | 254,192,075 | △ 7,645,140 |
| 資 産 合 計 | 252,475,414 | 258,563,228 | △ 6,087,814 |
| II 負債の部 | | | |
| 1. 流動負債 | 0 | 0 | 0 |
| 2. 固定負債 | | | |
| 退職給付引当資産 | 630,000 | 620,000 | 10,000 |
| 負 債 合 計 | 630,000 | 620,000 | 10,000 |
| III 正味財産の部 | | | |
| 1. 一般正味財産 | 251,845,414 | 257,943,228 | △ 6,097,814 |
| (うち基本財産への充当額) | 35,000,000 | 35,000,000 | 0 |
| (うち特定資産への充当額) | 211,546,935 | 219,192,075 | △ 7,645,140 |
| 正 味 財 産 合 計 | 251,845,414 | 257,943,228 | △ 6,097,814 |
| 負債および正味財産合計 | 252,475,414 | 258,563,228 | △ 6,087,814 |

退職慰労金の支給に備えるため、退職給付引当金を計上しており「財務諸表に対する注記」に注記している。

財産目録

令和5年3月31日現在

(公財) 日本化学研究会

| 科 目 | 金 額 (単位:円) | |
|------------------------|-------------|--------------------|
| I 資産の部 | | |
| 1. 流動資産 | | |
| 現金・預金 | | |
| ・現金 現金手許有高 | 58,230 | |
| ・普通預金:みずほ信託銀行仙台支店 | 336,626 | |
| ・普通預金:七十七銀行旭ヶ丘支店 | 5,533,623 | |
| 流動資産合計 | | 5,928,479 |
| 2. 固定資産 | | |
| (1) 基本財産 | | |
| ・定期預金: みずほ信託銀行仙台支店 | 35,000,000 | |
| 基本財産合計 | 35,000,000 | |
| (2) 特定資産 | | |
| 化学研究連絡助成資金 | | |
| ・定期預金:みずほ信託銀行仙台支店 | 161,000,000 | |
| ・定期預金:七十七銀行吉成支店 | 0 | |
| 有価証券(株券) | | |
| ・三菱ケミカルグループ(株) 24,800株 | 19,485,360 | |
| ・旭硝子(株) 6,179株 | 30,431,575 | |
| 退職給付引当資産:七十七銀行本店 | 630,000 | |
| 特定資産合計 | 211,546,935 | |
| 固定資産合計 | | 246,546,935 |
| 資産合計 | | 252,475,414 |
| II 負債の部 | | |
| 1. 流動負債 | 0 | |
| 流動負債合計 | | 0 |
| 2. 固定負債 | 0 | |
| 退職給付引当資産 | | 630,000 |
| 固定負債合計 | | 630,000 |
| 負債合計 | | 630,000 |
| 正味財産 | | 251,845,414 |

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

特定資産である有価証券(株券)は、本年度期末日の市場価格に基づく時価法によっている。評価額は次のとおりである。

2. 有価証券の評価価格は次のとおりである。

| | (株)三菱ケミカル G | AGC(株) | 計 |
|------------------------|---------------|-------------|------------|
| 株 数 | 24,800 | 6,179 | 30,979 |
| 取得価格 | 1,431,547 | 1,444,940 | 2,876,487 |
| 令和4年3月31日現在評価： 令和4年度期首 | | | |
| 株 数 | 24,800 | 6,179 | |
| 株 価 | 817.1 | 4,905 | |
| 評価額 | 20,264,080 | 30,307,995 | 50,572,075 |
| 当期評価損益 | △317,440 | 1,699,225 | 1,381,785 |
| 令和5年3月31日現在評価： 令和5年度期首 | | | |
| 株 数 | 24,800 | 6,179 | |
| 株 価 | 785.7 | 4,925 | |
| 評価額 | 19,485,360 | 30,431,575 | 49,916,935 |
| 当期評価損益 | △778,720 | 123,580 | △655,140 |
| 発行株数 | 1,506,288,107 | 227,441,381 | |
| 持株比率 | 0.0001646% | 0.002717% | |

3. 引当金の計上

役員退職給付引当金

役員退職慰労金の支給に備えるため内規に基づく期末支給額を計上している。

4. 基本財産、特定資産及びその他固定資産の増減額 及びその残高(引当金の明細)

(単位:円)

| 科 目 | 資産の種類 | 期首残高 | 当期増加額 | 当期減少額 | | 期末残高 |
|------|---------|---------|---------|--------|-----|---------|
| | | | | 目的使用 | その他 | |
| 特定資産 | 退職給付引当金 | 620,000 | 100,000 | 90,000 | 0 | 630,000 |

以 上